

市立美術報 だより

発行 鹿児島市立美術館 〒892 鹿児島市城山町4番36号 TEL (0992) 24-3400

館蔵品誌上ギャラリー②



桜狩 (習作) 1893年頃 (67.0×42.5cm)

解説文

藤島武二は、1867年(慶応3年)、鹿児島市池之上町に生まれる。早くから画才を発揮し、幼い頃に狩野派を学んでいる。後に四条派の平山東岳についても学んでいるが、藤島自身述懐しているように、狩野派の力強い骨法用筆が彼の芸術全般に与えた影響は、かなり大きいもののように思われる。

本作品は明治26年の明治美術会第5回展に出品された「桜狩」(100号)の習作。本画は関東大震災で焼失しているが、この作品にも十分、後年の作品に通じる簡潔で力強い筆致をうかがうことが出来る。これは狩野派の影響もさることながら、藤島自身の体質とぬきがたく結びついているものと思われる。画題は黒田清輝帰朝(明治26年)以前の一般的な歴史画的風俗画であるが、彼の関心は、むしろ咲きほころぶ桜の花と御殿女中のあでやかさ、さらに全体的な画面構成に向けられているようである。この藤島芸術の持つもう一つの要素である装飾性への関心は、やがて明治浪漫主義絵画の傑作「蝶」へと結実してゆく。